

内閣府：地方の元気再生事業『和泉農業ヒト・モノ・カネ活用プロジェクト』



大宅副会頭閉会挨拶



小河副知事祝辞



井坂市長祝辞



岸協会頭開会挨拶

4月25日(土)午後1時より、和泉市南部リージョンセンター多目的ホールにて、内閣府の地方の元気再生事業の一環として、「農商工連携シンポジウム」農商工連携で元気な大阪・和泉の実現をめざせ！(主催：和泉商工会議所 協力：和泉市大阪府)を開催。本シンポジウムは、食・農のブランド創出を足がかりにした地域産業の活性化に向けて、魅力ある農産物をどう作っていくか(ヒトづくり)、地域農業の魅力をどう市民に伝えていくか(ファンづくり)、より多くの消費者にどう届けるか(しくみづくり)をテーマに、農業と商・工業の連携による取組みの可能性を探ることを目的として開催。

開会に際し、主催者を代表して岸協会頭の挨拶、来賓を代表して井坂和泉市長、小河大阪府副知事の祝辞が行われた後、インターネット関連会社(株)ぐるなび 執行役員の溝上宏氏より「Tabete Good. 食べて元気！ 地域と食の魅力について」のテーマの下、基調講演会が行われた。その後、休憩を挟んで行われたパネルディスカッションでは、桃山学院大学副学長の朴大栄先生をコーディネーターに、岸協会頭、井坂市長、和泉市商店連合会村井会長、テクノステージ和泉まちづくり協議会阪口会長、NPO法人いずみきららファーム飯阪理事長、(有)いずみの里久保代表取締役の6名をパネリストにお迎えし、産学官連携と農商工連携により魅力あるブランド農産物をどう育てるかの可能性を探るため、積極的に議論が行われた。

当日は、朝から雨というあいにくの天気であったが、農業と商・工業の連携により和泉農業を軸とした和泉産業全体の活性化を期待して大勢の方々にご来場いただき、大宅副会頭の閉会挨拶により盛況の内に終了した。

「農商工連携シンポジウム」開催!!
農商工連携で元気な大阪・和泉の実現をめざせ!!



朴コーディネーター



パネリストの方々



(株)ぐるなび溝上氏による基調講演会